

大空間高級サルーンALPHARD

豪華で勇壮なアルファード

最上級グレード「エグゼクティブラウンジ」誕生!



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351代表

トヨタ
アルファード
特集号

低床フラットフロアでくつろぎの室内空間



変更箇所は多岐にわたり、サイドステップの高さやホイールベース(前輪と後輪の間隔)といった基本設計にまで踏み込んだ。特に外観は大幅に刷新され、フロントマスクには存在感の強い縦長のグリルを装着。従来型にもまして立体的な形状になっている。室内空間は、ミニバンでは最大級。エグゼクティブパワーシート、リラックスキャプテンシートなどの採用で、長距離を快適に移動できる。エンジンは直列4気筒2.5リッターのハイブリッド、直列4気筒2.5リッターとV型6気筒3.5リッターのノーマルタイプを設定する。このメカニズムも進化して、動力性能と燃費をバランス良く向上させた。

2列目は移動するサロンカロイヤルボックス



大きな車体でも先進技術で運転をサポート

アルファードは広い室内空間と上質な内装を特徴とする人気のLサイズミニバン。初代モデルは2002年に登場し、その豪華さが注目を集めた。一躍、憧れのミニバンになり、2008年には2代目にフルモデルチェンジされた。そして2015年1月、装いも新たに3代目アルファードが登場した。

~VIP仕様の「エグゼクティブラウンジ」~

Executive Lounge

アルファードは最上級のパッケージとして、2列目のエグゼクティブラウンジシートを用意した。幅を100mm広げた本革シートが備わり、大型のアームレストなども装着されて、特別な空間が広がっている。シートの座り心地が快適なだけでなく、電動式のパワーオットマンには伸縮機能を採用した。シートにはベンチレーション機能が備わり、温度調節も綿密に行う。アームレストには格納式のテーブルが備わり、大型のハイグレードコンソールボックスもセットされる。LEDを使った読書灯も付いているので、ビジネスにも役立つ。

ヘッドレスト
読書灯
エグゼクティブラウンジ専用装備 大型アームレスト+格納式テーブル
エグゼクティブラウンジ専用装備 パワーオットマン(伸縮機構付)



ラインアップとウェルキャブ Lineup & Welcab

グレード構成は、3種類のパワーユニットに分類される。

直列4気筒の2.5リッターエンジン搭載車には、標準ボディのベーシックなXと上級のG、エアロボディのSがある。V型6気筒の3.5リッターは、上級グレードのみの設定。標準ボディはGFと最上級のエグゼクティブラウンジ、エアロボディはSAになる。直列4気筒の2.5リッターをベースにしたハイブリッドでは、標準ボディがベーシックなX、上級のG、最上級のエグゼクティブラウンジを設定。これにエアロボディのSRという構成だ。車内の広いLサイズのミニバンとあって、福祉車両のウェルキャブも設定した。2列目シートの左側が電動で外側にせり出すサイドリフトアップシート装着車、シートが車椅子として機能する脱着タイプも選べる。なお、このウェルキャブは、3種類のパワーユニットすべてに対応できる。さまざまなグレードを選べることも特徴だ。



ウェルキャブS(2WD) サイドリフトアップシート車

福祉車両は全車に対応出来て、先々も安心!

トヨタ アルファード 主要諸元表	ハイブリッド車							ガソリン車											
	Executive Lounge	Fパッケージ	G	X	X	SR	Executive Lounge	GF	G	X	SA	S	S	S					
車両重量(kg)	2,220	2,180	2,140	2,110	2,090	2,180	2,100	2,070	1,990	1,950	1,920	2,070	2,040	2,010	1,980	1,960	1,940		
JCOモード燃費率(km/L)		18.4		5.6		19.4	18.4	9.5(9.1)	5.8	11.6(12.8)	12.0	11.6(12.8)	12.4	9.5(9.1)	9.5(9.3)	11.4(12.4)	12.0	11.6(12.8)	12.0
全長(mm)		4,915				4,935		4,915		4,915					4,935				
全幅(mm)								1,850											
全高(mm)	1,950			1,895				1,935(1,950)		3,000			1,880(1,895)						
ホイールベース(mm)																			
トレッド																			
最低地上高(mm)				1,595								1,605(1,595)							1,575
室内				165									160(170)						1,580(1,570)
エンジン型式				2AR-FXE				2GR-FE		2AR-FE		2GR-FE		2AR-FE		2GR-FE		2AR-FE	
エンジン総排気量(cc)				2,493				3,456		2,493		3,456		2,493		3,456		2,493	
エンジン種類				直列4気筒DOHC				V型6気筒DOHC		直列4気筒DOHC		V型6気筒DOHC		直列4気筒DOHC		V型6気筒DOHC		直列4気筒DOHC	
使用燃料				無鉛レギュラーガソリン				無鉛プレミアムガソリン		無鉛レギュラーガソリン		無鉛プレミアムガソリン		無鉛レギュラーガソリン		無鉛プレミアムガソリン		無鉛レギュラーガソリン	
エンジン最高出力(kW/PS)/rpm				112(152)/5,700				206(280)/6,200		134(182)/6,000		206(280)/6,200		134(182)/6,000		206(280)/6,200		134(182)/6,000	
エンジン最大トルク(Nm/kgf-m)/rpm				206(21.0)/4,400~4,800				344(35.1)/4,700		235(24.0)/4,100		344(35.1)/4,700		235(24.0)/4,100		344(35.1)/4,700		235(24.0)/4,100	
燃料タンク容量(L)				65				75(65)		75(65)		75(65)		75(65)		75(65)		75(65)	
ステアリング																			
サスペンション																			
ブレーキ																			
駆動方式																			
トランスミッション																			
モーター駆動																			
モーター最高出力(kW/PS) 前/後																			
モーター最大トルク(Nm/kgf-m) 前/後																			
動力用主電池容量(電圧/接続方式/容量(Ah))																			



HYBRID Executive Lounge

ドライビングサポート

新型アルファードは、さまざまなシーンで運転を支援する機能を搭載している。

最も注目されるのは、世界初とされるインテリジェントパーキングアシスト2だ。バックモニターの画面上で、ハンドル操作によって駐車スペースを設定。その後は、音声などの指示に従って徐行しながら前進や後退をすれば良い。ハンドル操作は自動的に行われる。手で細かく駐車位置を設定する手間を要さず、簡単に素早く駐車できる。車両を上空から見たような映像で表示するパノラミックビューモニターには、シースルービューを設けた。ボディを透過して見たような映像になり、車庫入れなどがさらに行きやすい。これも世界初の機能だ。このほか、駐車場から出たりする時、付近の駐車車両との接触を防ぐ巻き込み警報機能なども備わる。ミリ波レーダーを使ったレーダークルーズコントロールは、全車速追従機能付きに進化。先行車が停車すると自車も止まり、停止状態を維持する。

- インテリジェントパーキングアシスト2 レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)



- パノラミックビューモニター 巻き込み警報機能



安全技術 先進的な安全装備にも注目したい。

自動ブレーキを作用できる衝突回避の支援機能としては、プリクラッシュセーフティシステムがある。路上の先行車や障害物をミリ波レーダーで検知して、衝突の危険が迫ると警報を発生し、衝突不可避の時には自動ブレーキも作用させる。先行車が時速20km、自車が時速80kmで走っている時なら、最大で時速60km程度の減速が可能だ。インテリジェントクリアランスソナーも、衝突の回避を支援する。ボディの前後に8つのセンサーを装着して、駐車場などでゆっくりと前進や後退している時の衝突を防ぐ。後退時を含めて、ブレーキ制御を行える。このほか、サイド/カーテン/運転席二エアバッグを装着。LEDを使ったヘッドランプ/コーナリングランプ/クリアランスランプも設定され、さまざまなシーンでの安全性を向上させた。



コンフォート

Lサイズの上級ミニバンとあって、車内の快適性や質感を高めるイルミネーションなどの装飾類も充実している。

特に鮮やかなのは、LEDルーフカラーイルミネーションだろう。天井に装着されたLED照明で、後席を包み込むように枠状に配置されている。カラーのバリエーションは16色と豊富にそろそろ。光の強さも4段階で調節できる。スマートエントリーシステムも進化した。スマートキーに装着されたセットボタンを長押しすることで予約を行い、スマートキーを携帯して車両に近づくと、ドアロックが自動的に解除されてパワースライドドアが開く。予約操作が可能なので、両手に荷物を持った状態でも車内に入りやすくなって便利だ。



インテリア 内装は従来型にもまして豪華になった。

インパネは左右方向にワイドな広がりを見せ、金属調、木目調のパネルなども、質感を大幅に高めている。ステアリングホイールは本革巻きで、装飾類も緻密に造り込んだ。メーターパネルは自発光式で視認性に優れ、中央にはマルチインフォメーションディスプレイを装着。瞬間/平均燃費や航続可能距離のほか、カーナビと連動した各種の情報も表示する。また、機能的にはスライドドアの部分に装着されたサイドステップの位置を最適化。ステップ幅も180mmと余裕があり、乗降性を向上させている。



Engineer's Voice

「従来にない新しい高級車の概念を創造する」というテーマをベースにして、より皆様に愛されるクルマを目標に、アルファードの企画開発を始めました。

近年、日本人の消費に対する価値観は変化して、自分のライフスタイルにこだわる傾向が増えています。そこで個人個人で異なる実質的な贅沢を高級の概念として、新型アルファードを「大空間高級サルーン」に生まれ変わらせました。その柱になる要素は、「高級車を圧倒する存在感とスタイリング/高級車に相応しい基本性能/快適な室内空間/魅力の先進装備」です。これらが相まって、お客様を魅了する商品力を飛躍的に向上できました。



トヨタ自動車 製品企画本部 主査 吉岡憲一さん



堂々と華やかに ALPHARD



エクステリア

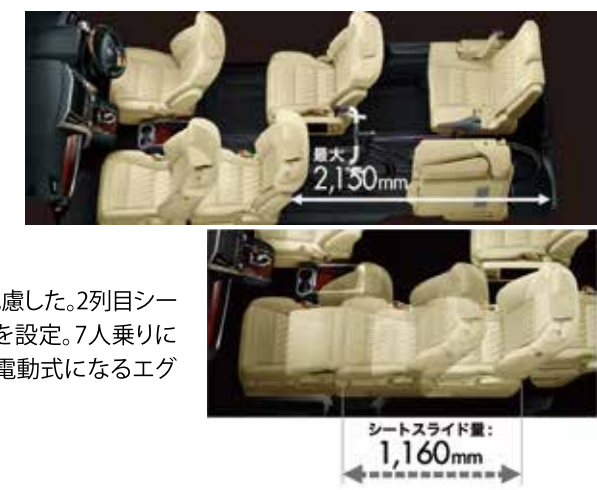
歴代アルファードが高い人気を得てきた理由として、存在感の強いボディスタイルが挙げられる。車内の豪華さが外観にも表現され、高級ミニバンとして満足感を高めた。特に注目されるのがフロントマスクだ。上下方向に厚みを持たせ、両側には切れ長のLEDヘッドランプとダイナミックな形状のバンパーが装着された。中央部には縦長のグリルが備わり、メタリックなデザインに仕上げた。ボディの側面では、中央のピラー(天井を支える柱)に特徴がある。前傾させた形状にすることで、躍動感を高めた。外観のテイストは標準ボディとエアロボディに分かれ、後者は低重心を強調した精悍なイメージだ。ボディサイドには専用タイプのマッドガードも装着され、スポーティな雰囲気を際立たせている。

気遣いの室内空間

室内空間は、従来型と同様にミニバンの中でも最高峰の広さを誇る。

パッケージとシートバリエーション

室内長は50mm拡大され、居住性をさらに高めた。シートのバリエーションも多彩だ。最も注目されるのは、世界初とされる助手席のスーパーロングスライドシート。助手席のスライド量は最大で1160mmに達し、後方に寄せられる。電動式と手動式のアウトマンも用意され、助手席の同乗者がゆったりと足を伸ばして座れるように配慮した。2列目シートについては、7人乗りのセパレートシートと8人乗りのベンチシートを設定。7人乗りにはアウトマンが備わり、リラックスキャブテンシートと、各部の調節が電動式になるエグゼクティブパワーシートを選択できる。



パフォーマンス JC08モード燃費、ハイブリッド車は最高19.4km/ℓ。

8人乗り2列目シート

ガソリン車には直列4気筒の2.5リッター、V型6気筒の3.5リッターがあり、これに2.5リッターをベースにしたハイブリッド車加わる。駆動方式は、ガソリン車には前輪駆動の2WDと4WDを設定。ハイブリッド車は、後輪もモーターで駆動する4WDのみだ。エンジンやハイブリッドシステムは設計が見直され、動力性能や燃費性能を向上させている。直列4気筒の2.5リッターを搭載した2WDモデルは、アイドリングストップ装着車になるとJC08モード燃費が最高で12.8km/ℓに達する。ハイブリッド車は最高で19.4km/ℓと優れている。プラットフォームは、底面の部分に補強を加えるなどの改良を施して剛性を向上。リアサスペンションは、先代型は車軸式のトーションビームだったが、新型では独立式のダブルウィッシュボーンにグレードアップされた。走行安定性と乗り心地のバランスが向上し、床下収納スペースの確保などにも貢献している。



ダブルウィッシュボーンリアサスペンション ハイブリッドシステム 2.5L 2AR-FE Dual VVT-i エンジン